

平成30年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 日精エー・エス・ビー機械株式会社

コード番号 6284 URL <http://www.nisseiasb.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 C00 (氏名) 宮坂 純一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 大井 昌彦

TEL 0267-23-1560

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年9月期第1四半期の連結業績（平成29年10月1日～平成29年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第1四半期	6,384	16.0	1,175	105.0	1,337	19.2	1,413	107.7
29年9月期第1四半期	5,502	△8.2	573	△36.3	1,122	16.9	680	28.3

(注) 包括利益 30年9月期第1四半期 1,216百万円 (△42.2%) 29年9月期第1四半期 2,103百万円 (347.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第1四半期	94.11	-
29年9月期第1四半期	45.30	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年9月期第1四半期	41,278	25,729	62.3
29年9月期	42,066	25,413	60.4

(参考) 自己資本 30年9月期第1四半期 25,728百万円 29年9月期 25,413百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期	-	0.00	-	60.00	60.00
30年9月期	-	-	-	-	-
30年9月期(予想)	-	0.00	-	60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	19.7	2,500	17.0	2,800	2.9	1,900	6.2	126.52
通期	32,300	10.3	6,800	11.4	7,200	3.5	4,800	5.0	319.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 無

④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

30年9月期1Q	15,348,720株	29年9月期	15,348,720株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

30年9月期1Q	331,833株	29年9月期	331,764株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

30年9月期1Q	15,016,924株	29年9月期1Q	15,016,985株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本書に記載した業績予想数値等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、様々な要因により異なる場合があります。業績予想等の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	9
受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年10月1日～平成29年12月31日、以下、当第1四半期又は当期間)におきましては、当社が販売展開している海外市場では、地域別に濃淡が見られたものの、全体的な景況感概ね順調に推移するなど、当社グループを取り巻く経営環境は堅調さを維持しました。

このような中、販売面では、新製品や既存製品の販売拡大を図るため、主要展示会に出展するなど、販売規模の拡充に注力するとともに、技術面では、既存製品の機能の向上や新製品の開発を進めるなど、製品競争力を図る施策に尽力しました。生産面では、中長期的な事業規模の拡大を図るため、国内新工場の建設準備を本格的に進めるとともに、インド第3工場の本格稼働に向けた体制の整備に注力し、グループ全体の生産体制の充実に尽力しました。

当期間の売上高につきましては、当期間の期首受注残高が、前年同期の期首受注残高と比べて高い水準であったこともあり、6,384百万円(前年同期比116.0%)と増収となりました。また、当期間の受注高につきましては、8,364百万円(同119.1%)と高い水準を確保しました。なお、当期間末現在の受注残高については、11,041百万円(前年同期末比120.3%)となっております。

製品別売上高状況

(単位:百万円)

	ストレッチブロー成形機	金型	付属機器	部品その他	合計
当第1四半期	3,160	1,960	409	853	6,384
前第1四半期	2,888	1,608	323	682	5,502
前年同期比	109.4%	121.9%	126.8%	125.1%	116.0%

製品別の売上高状況につきましては、ストレッチブロー成形機が3,160百万円(前年同期比109.4%)、金型が1,960百万円(同121.9%)、付属機器が409百万円(同126.8%)、部品その他が853百万円(同125.1%)とそれぞれ増収となりました。機種別では、小型の主力汎用機などが増収となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

セグメント(地域)別売上高状況

(単位:百万円)

	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	合計
当第1四半期	2,266	1,383	1,905	190	638	6,384
前第1四半期	1,229	1,214	1,813	415	829	5,502
前年同期比	184.3%	113.9%	105.0%	46.0%	77.0%	116.0%

① 米州

中米市場で大幅増収になったことに加え、北米市場や南米市場でも増収を確保したことにより、地域全体の売上高は2,266百万円(前年同期比184.3%)と大幅増収となりました。セグメント利益は大幅増収の影響などにより、627百万円(同167.2%)と大幅増益となりました。

② 欧州

対ユーロでは前年同期と比べ、円安で推移している影響もあり、地域全体の売上高は1,383百万円(前年同期比113.9%)と増収となりました。セグメント利益は、増収効果などもあり、491百万円(同162.2%)と大幅増益となりました。

③ 南・西アジア

インド市場やドバイ販売法人で増収を確保したことにより、地域全体の売上高は1,905百万円(前年同期比105.0%)、セグメント利益は320百万円(同125.7%)となりました。

④ 東アジア

主要市場の中国などで前年同期の実績を大幅に下回ったことにより、地域全体の売上高は190百万円(前年同期比46.0%)と大幅減収となりました。セグメント利益も大幅減収の影響により、46百万円(同42.9%)と大幅減益となりました。

⑤ 日本

期首受注残高が低かったこともあり、売上高は638百万円（前年同期比77.0%）と減収となりました。セグメント利益も、169百万円（同90.7%）と減益となりました。

利益面では、製造原価の低減への継続的な取組みや増収効果などにより、売上総利益は2,991百万円（前年同期比132.3%）、営業利益は1,175百万円（同205.0%）とそれぞれ大幅増益となりました。

経常利益は、前年同期と比べ為替差益が減少したものの、営業利益段階までの増益により、1,337百万円（同119.2%）と増益となりました。最終損益である親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益の計上により、1,413百万円（同207.7%）と大幅増益になりました。

なお、これまでに開示している第1四半期の連結決算では、売上高及び各利益項目が過去最高を更新しました。

当第1四半期連結累計期間における損益の状況は次のとおりであります。

（単位：百万円）

	売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
当第1四半期	6,384	2,991	1,175	1,337	1,413
前第1四半期	5,502	2,262	573	1,122	680
前年同期比	116.0%	132.3%	205.0%	119.2%	207.7%

(2) 財政状態に関する説明

（資産、負債及び純資産の状況）

（単位：百万円）

	流動資産	固定資産	流動負債	固定負債	純資産
当第1四半期	29,146	12,132	10,038	5,511	25,729
前連結会計年度	30,319	11,747	10,839	5,812	25,413

当第1四半期連結会計期間末（以下、当期間末）の流動資産は、たな卸資産が大幅に増加したものの受取手形及び売掛金が大幅に減少したことにより、前連結会計年度末（以下、前期末）と比べ1,173百万円減少し、29,146百万円となりました。また、固定資産は、投資有価証券の一部を売却したものの、建設中のインド第3工場や着工した千曲川工場に対する設備投資により、前期末と比べ385百万円増加し、12,132百万円となりました。この結果、当期間末の資産合計は、前期末と比べ787百万円減少し、41,278百万円となりました。

流動負債は、未払法人税等や短期借入金の減少により、前期末と比べ801百万円減少し、10,038百万円となり、固定負債は、長期借入金の約定返済により、前期末と比べ301百万円減少し、5,511百万円となりました。

純資産は、配当金やその他有価証券評価差額金の減少を上回る親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前期末と比べ315百万円増加し、25,729百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「(1) 経営成績に関する説明」に記載したとおり、当第1四半期の売上高、営業利益、経常利益は、概ね想定内で推移したことに加え、投資有価証券の一部売却による売却益を計上したことにより、最終利益は高い水準を確保しましたが、今後につきましては、為替相場の変動要因、株式市場の変化、世界経済の変化等の外部要因を踏まえ、平成29年11月10日付「平成29年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した平成30年9月期の連結業績予想（平成29年10月1日～平成30年9月30日）については、現時点では修正を行わないことといたします。

なお、今後の情報収集により業績予想の修正が必要と判断した場合には、速やかに公表する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,925	9,364
受取手形及び売掛金	6,680	4,541
商品及び製品	2,120	1,972
仕掛品	4,898	6,063
原材料及び貯蔵品	4,093	4,593
繰延税金資産	1,312	1,330
その他	1,358	1,352
貸倒引当金	△70	△72
流動資産合計	30,319	29,146
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,742	1,755
機械装置及び運搬具(純額)	2,163	2,105
土地	1,165	1,165
その他(純額)	2,153	3,051
有形固定資産合計	7,223	8,078
無形固定資産		
投資その他の資産	121	118
投資有価証券	1,679	845
その他	2,862	3,220
貸倒引当金	△139	△130
投資その他の資産合計	4,402	3,935
固定資産合計	11,747	12,132
資産合計	42,066	41,278

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,230	4,252
短期借入金	1,353	1,199
未払法人税等	1,275	671
前受金	2,399	2,412
賞与引当金	200	109
役員賞与引当金	15	6
その他	1,365	1,387
流動負債合計	10,839	10,038
固定負債		
長期借入金	3,453	3,169
役員退職慰労引当金	313	325
退職給付に係る負債	571	569
その他	1,473	1,445
固定負債合計	5,812	5,511
負債合計	16,652	15,549
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,860	3,860
資本剰余金	3,196	3,196
利益剰余金	18,645	19,157
自己株式	△201	△202
株主資本合計	25,500	26,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	855	429
為替換算調整勘定	△942	△713
その他の包括利益累計額合計	△87	△284
非支配株主持分	0	0
純資産合計	25,413	25,729
負債純資産合計	42,066	41,278

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,502	6,384
売上原価	3,240	3,392
売上総利益	2,262	2,991
販売費及び一般管理費	1,688	1,816
営業利益	573	1,175
営業外収益		
受取利息	29	33
受取配当金	10	15
為替差益	467	68
受取手数料	40	44
その他	4	4
営業外収益合計	552	165
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	0	0
営業外費用合計	3	3
経常利益	1,122	1,337
特別利益		
固定資産売却益	2	0
投資有価証券売却益	—	744
特別利益合計	2	744
特別損失		
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,124	2,082
法人税、住民税及び事業税	452	584
法人税等調整額	△7	83
法人税等合計	444	667
四半期純利益	679	1,414
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	680	1,413

(四半期連結包括利益計算書)

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年10月1日 至 平成28年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年10月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	679	1,414
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	264	△426
為替換算調整勘定	1,159	228
その他の包括利益合計	1,423	△197
四半期包括利益	2,103	1,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,104	1,216
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年10月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	1,229	1,214	1,813	415	829	5,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,229	1,214	1,813	415	829	5,502
セグメント利益	374	303	254	109	186	1,228

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,228
全社費用	△351
たな卸資産の調整額	△145
その他の調整額	△158
四半期連結損益計算書の営業利益	573

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					合計
	米州	欧州	南・西アジア	東アジア	日本	
売上高						
外部顧客への売上高	2,266	1,383	1,905	190	638	6,384
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,266	1,383	1,905	190	638	6,384
セグメント利益	627	491	320	46	169	1,655

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,655
全社費用	△362
たな卸資産の調整額	△47
その他の調整額	△70
四半期連結損益計算書の営業利益	1,175

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

① 受注状況

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)		前年同期比	
	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高 (百万円)	受注残高 (百万円)	受注高(%)	受注残高(%)
ストレッチブロー成形機	4,088	5,595	4,600	6,719	112.5	120.1
金型	1,908	2,926	2,383	3,654	124.9	124.9
付属機器	338	558	536	588	158.3	105.2
部品その他	685	94	844	79	123.1	84.1
合計	7,022	9,175	8,364	11,041	119.1	120.3

② 販売実績

製品別	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年10月1日 至平成28年12月31日)		当第1四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成29年12月31日)		前年同期比(%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
ストレッチブロー成形機	2,888	52.5	3,160	49.5	109.4
金型	1,608	29.2	1,960	30.7	121.9
付属機器	323	5.9	409	6.4	126.8
部品その他	682	12.4	853	13.4	125.1
合計	5,502	100.0	6,384	100.0	116.0